



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月7日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート部門担当 (氏名) 古川 公一 TEL (011) 530-1000
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	317,675	32.6	9,417	30.2	10,192	31.7	6,270	△46.1
24年2月期第3四半期	239,556	6.6	7,233	10.8	7,739	8.6	11,625	187.5

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 6,301百万円 (△45.1%) 24年2月期第3四半期 11,487百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第3四半期	118	64	-	-
24年2月期第3四半期	273	13	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
25年2月期第3四半期	176,512	103,644	103,644	58.7		
24年2月期	156,787	93,320	93,320	59.5		

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 103,644百万円 24年2月期 93,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年2月期	-	-	19	00	-	-	19	00	38	00
25年2月期	-	-	19	00	-	-	-	-	-	-
25年2月期(予想)	-	-	-	-	-	-	19	00	38	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	439,000	26.1	14,000	25.1	15,000	24.2	8,400	△36.9	157	33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
 ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	55,591,438株	24年2月期	52,338,040株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	564,764株	24年2月期	560,574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	52,852,380株	24年2月期3Q	42,561,941株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日）におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に、企業収益や個人消費において一部で持ち直しの傾向が見られたものの、世界的な景気の低迷、電力供給の制約など、依然として不透明な状況が続いてまいりました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、消費税増税による将来的な家計負担の増加、引き続き厳しい雇用情勢などにより消費者の生活防衛意識や節約志向は一層高まっております。また、競合各社のディスカウントストアの出店などによるデフレ基調は継続しており、経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は流通企業グループとしてのプラットフォームの更なる強化と拡充を目指し、平成24年9月1日に岩手県を中心に食品スーパーマーケットを36店舗（同年11月30日現在）展開している㈱ジョイスと経営統合し、同社を完全子会社化いたしました。㈱ジョイスは同年10月31日に宮城県初進出となる「ジョイス仙台松森店」を新規出店しており、今後も当社グループの一員として、既にグループ入りしている㈱ユニバースと共に、東北エリアにおけるより一層のお客様満足度の向上に加え、当社グループの企業価値向上に積極的に取り組んでまいります。

組織体制面では、商品戦略の一環として、商品開発や商品情報の収集に資することを目的に、平成24年9月1日に㈱アークスの駐在員を東京に派遣いたしました。また、持株会社の機能強化及びグループガバナンスの更なる充実を図るため、同年10月1日のアークス事務棟完成を機に組織変更を実施し、更なる業務効率の向上を目的としてグループ子会社の経理業務・人事業務を集約する「アークス事務集中センター」と、当社グループ全体の人事制度及び教育制度を強化することを目的として「人事企画グループ」を新設いたしました。更に、中長期的なグループ競争力の向上を図るため「新時代リーダー育成研修」を実施したほか、当社グループ理念の全社員への浸透と共有を目的として、グループ理念をまとめた「アークスグループ・フィロソフィー」を刷新いたしました。

営業面におきましては、お客様の利便性をより高めるために、同年11月にアークスRARAカードをリニューアルし、支払方法の多様化に対応すべくプリペイドや電子マネーでの決済機能をもったカードを追加するなど機能拡充を行いました。特に、プリペイドカードは現金入金時と支払い時共にポイントが貯まることが好評であり、サービス開始後、順調に会員が増加しております。このようにカードの利便性を高めると共に新規会員の獲得を進めた結果、会員数は、当四半期末現在で172万人（前年同期末比8万人増加）となりました。今後は東北エリアで店舗を展開する㈱ユニバース、㈱ジョイスについてもアークスRARAカードの導入を進めてまいります。

店舗展開につきましては、新規出店3店舗、建替1店舗、移転新築1店舗、業態変更を含む改装7店舗、閉店1店舗を実施いたしました。新規出店は、平成24年8月に当社グループのホームセンター業態では2店舗目となる「カインズホームFC花川店」（運営会社㈱エルディ）、同年9月に「スーパーチェーンふじあシルマート奈井江店」（運営会社㈱道北アークス）、同年10月に「ジョイス仙台松森店」（運営会社㈱ジョイス）の3店舗を開店いたしました。また、「ベストプライス永山中央店」（運営会社㈱道北アークス）を一時的に閉店して新しく建て替え、同年9月に新規オープンしたほか、同年10月に「ホームストア輪西店」（運営会社㈱ラルズ）を移転新築いたしました。更に、店舗活性化策として、同年6月に「ユニバース南類家店」、「ユニバース八戸ニュータウン店」（運営会社いずれも㈱ユニバース）、同年9月に「ユニバース階上店」（運営会社㈱ユニバース）、同年10月に「ビッグハウス土別店」（運営会社㈱道北アークス）、「東光ストア真栄店」（運営会社㈱東光ストア）、同年11月に「ユニバース沖館店」（運営会社㈱ユニバース）の6店舗の改装に加え、同年11月に「ビッグハウスノース」（運営会社㈱ラルズ）を「スーパーアークスノース」に業態変更の上、改装いたしました。また、店舗効率を高めるために同年3月に「フクハラとん田西町店」を閉店いたしました。

以上により、当第3四半期連結会計期間末日現在の当社グループの総店舗数は、㈱ジョイスの35店舗（「ジョイス仙台松森店」を除く店舗数）を加え、290店舗（北海道207店舗、青森県31店舗、岩手県49店舗、秋田県2店舗、宮城県1店舗）となりました。なお、決算短信発表日現在では、同年12月に青森県に開店した㈱ユニバースの新店1店舗を含み291店舗となっております。

以上の取り組み並びに前期の第3四半期に連結子会社となった㈱ユニバース、㈱篠原商店、及び当第3四半期に連結子会社となった㈱ジョイスの業績貢献などにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,176億75百万円（対前年同期比32.6%増）、営業利益94億17百万円（対前年同期比30.2%増）、経常利益101億92百万円（対前年同期比31.7%増）と増収増益となりました。四半期純利益については、当期は㈱ジョイスの子会社化に伴い負ののれん発生益10億23百万円が発生したものの、前年同期に発生した㈱ユニバース及び㈱篠原商店の子会社化に伴う負ののれん発生益83億20百万円の反動などにより、62億70百万円（対前年同期比46.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比較して197億24百万円増加し、1,765億12百万円となりました。また、負債は94億円増加し、728億67百万円となりました。

これらの主な要因は、㈱ジョイスの連結子会社化に伴い、現金及び預金が51億18百万円、たな卸資産が22億9百万円、有形固定資産が116億55百万円それぞれ増加したこと、並びに負債については、買掛金が18億4百万円、短期借入金が53億90百万円、賞与引当金が9億52百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

なお、純資産は、1,036億44百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.8ポイント減少し58.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して46億31百万円増加し、207億28百万円（対前年同期比では48億22百万円の増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益109億30百万円、減価償却費35億61百万円、負ののれん発生益10億23百万円、及び法人税等の支払額64億18百万円などにより、90億67百万円の収入（対前年同期比では6億50百万円の収入減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入28億92百万円、新規出店や店舗改装に伴う有形固定資産の取得による支出19億83百万円などにより、4億56百万円の収入（対前年同期比では43億14百万円の収入減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加額6億20百万円、長期借入金の返済による支出34億64百万円、配当金の支払額19億39百万円などにより、48億92百万円の支出（対前年同期比では17億3百万円の支出の減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね想定していた範囲内で推移しているため、平成24年10月12日に公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,114	22,233
受取手形及び売掛金	1,926	2,222
たな卸資産	11,012	13,222
未収入金	4,033	3,378
繰延税金資産	1,490	1,685
その他	1,468	1,707
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	37,035	44,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,369	40,430
土地	55,656	60,763
リース資産（純額）	848	1,547
その他（純額）	2,870	3,660
有形固定資産合計	94,746	106,401
無形固定資産		
のれん	1,497	1,053
ソフトウェア	867	744
その他	242	350
無形固定資産合計	2,607	2,148
投資その他の資産		
投資有価証券	2,564	2,559
敷金及び保証金	14,565	15,454
繰延税金資産	4,087	4,084
その他	1,552	1,795
貸倒引当金	△371	△371
投資その他の資産合計	22,397	23,521
固定資産合計	119,751	132,071
資産合計	156,787	176,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,749	26,553
短期借入金	6,805	12,196
リース債務	241	307
未払金	3,826	4,731
未払費用	1,643	2,427
未払法人税等	3,144	1,559
未払消費税等	569	548
賞与引当金	2,080	3,033
ポイント引当金	467	740
その他	1,354	2,189
流動負債合計	44,883	54,288
固定負債		
長期借入金	6,461	3,987
リース債務	675	1,372
退職給付引当金	2,234	3,237
長期預り保証金	6,325	6,445
資産除去債務	1,472	2,153
その他	1,414	1,383
固定負債合計	18,583	18,579
負債合計	63,467	72,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	14,756	20,683
利益剰余金	59,238	63,611
自己株式	△632	△638
株主資本合計	93,362	103,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42	△11
その他の包括利益累計額合計	△42	△11
純資産合計	93,320	103,644
負債純資産合計	156,787	176,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	239,556	317,675
売上原価	184,206	242,726
売上総利益	55,349	74,948
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	3,100	3,919
店舗賃借料	3,789	4,850
ポイント引当金繰入額	2,295	2,746
給料及び手当	18,198	24,713
賞与引当金繰入額	2,247	3,235
退職給付費用	582	699
水道光熱費	3,551	4,975
租税公課	1,149	1,351
減価償却費	2,375	3,561
のれん償却額	407	444
その他	10,416	15,032
販売費及び一般管理費合計	48,116	65,531
営業利益	7,233	9,417
営業外収益		
受取利息	45	62
受取配当金	38	38
業務受託料	321	340
その他	329	489
営業外収益合計	734	931
営業外費用		
支払利息	109	106
その他	119	50
営業外費用合計	229	157
経常利益	7,739	10,192
特別利益		
受取補償金	—	24
固定資産売却益	27	0
貸借契約違約金受入	3	—
負ののれん発生益	8,320	1,023
その他	11	3
特別利益合計	8,362	1,050
特別損失		
固定資産除売却損	123	77
投資有価証券評価損	—	184
貸倒引当金繰入額	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	569	—
災害義捐金	115	—
店舗閉鎖損失	—	7
退職給付引当金繰入額	469	—
その他	8	43
特別損失合計	1,286	312
税金等調整前四半期純利益	14,815	10,930
法人税等	3,190	4,659
少数株主損益調整前四半期純利益	11,625	6,270
四半期純利益	11,625	6,270

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,625	6,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	31
その他の包括利益合計	△137	31
四半期包括利益	11,487	6,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,487	6,301
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,815	10,930
減価償却費	2,375	3,561
負ののれん発生益	△8,320	△1,023
のれん償却額	407	444
受取利息及び受取配当金	△84	△101
支払利息	109	106
賞与引当金の増減額 (△は減少)	706	941
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	160	217
売上債権の増減額 (△は増加)	70	△275
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,093	△1,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,262	△257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	569	—
その他	1,444	2,211
小計	14,423	15,500
利息及び配当金の受取額	66	71
利息の支払額	△101	△85
法人税等の支払額	△4,670	△6,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,717	9,067
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,736	△1,983
有形固定資産の売却による収入	108	0
無形固定資産の純増減額	△451	△102
差入保証金の差入による支出	△33	△423
差入保証金の回収による収入	677	753
預り保証金の受入による収入	162	84
預り保証金の返還による支出	△409	△501
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	6,456	2,892
その他	△3	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,771	456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△830	620
長期借入れによる収入	4,250	100
長期借入金の返済による支出	△7,523	△3,464
自己株式の取得による支出	△723	△6
配当金の支払額	△1,626	△1,939
その他	△143	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,596	△4,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,892	4,631
現金及び現金同等物の期首残高	8,013	16,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,905	20,728

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	238,649	906	239,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	577	1,153	1,731
計	239,227	2,059	241,287
セグメント利益	8,282	182	8,465

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,282
「その他」の区分の利益	182
のれん償却額	△407
全社費用等(注)	△318
四半期連結損益計算書の経常利益	7,739

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	316,604	1,071	317,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	563	1,296	1,859
計	317,167	2,367	319,535
セグメント利益	10,638	221	10,860

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,638
「その他」の区分の利益	221
のれん償却額	△444
全社費用等(注)	△223
四半期連結損益計算書の経常利益	10,192

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結会計期間において、平成24年9月1日を効力発生日とする当社と㈱ジョイスとの株式交換契約により、新たに普通株式を3,253,398株発行いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本剰余金が59億96百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が206億83百万円となっております。

4. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食品	192,125	80.2	258,605	81.4	134.6
	衣料品	2,733	1.1	2,595	0.8	94.9
	住居関連	12,668	5.3	16,825	5.3	132.8
	テナント	10,795	4.5	10,370	3.3	96.1
	酒類等	16,648	6.9	23,647	7.4	142.0
	D P E	249	0.1	239	0.1	95.9
	医薬品	906	0.4	1,201	0.4	132.6
	不動産賃貸収入等	2,522	1.1	3,119	1.0	124.0
	計	238,649	99.6	316,604	99.7	132.7
その他	観光事業	295	0.1	304	0.1	103.0
	その他の事業	610	0.3	767	0.2	125.6
	計	906	0.4	1,071	0.3	118.2
合計		239,556	100.0	317,675	100.0	132.6

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 小売事業において販売実績が著しく増加しておりますが、これは平成24年9月1日を効力発生日とする当社と㈱ジョイスとの株式交換契約により、㈱ジョイスが連結子会社となったことによるものであります。